

## 令和4年度第2回千葉市図書館協議会議事録

1 日 時 令和5年3月15日(水) 10時00分～11時45分

2 場 所 千葉市消費生活センター3階 研修講義室

### 3 出席者

#### (1) 委員

吉野知義 委員長・松尾修一 副委員長  
古賀義明 委員・細川芽 委員・松崎萌 委員  
三上浩司 委員・本杉みゆき 委員

#### (2) 事務局

中島中央図書館長兼管理課長・平岡中央図書館情報資料課長  
三浦花見川図書館長・湯川稲毛図書館長  
山崎若葉図書館長・真田緑図書館長・山崎美浜図書館長  
児玉中央図書館管理課長補佐

#### (3) 傍聴人

11人

### 4 議 事

- (1) 令和5年度予算及び事業計画(案)について
- (2) (仮称)千葉市図書館地域情報アーカイブ化計画(構成案)について
- (3) その他

### 5 概 要

- (1) 令和5年度予算及び事業計画(案)について
  - (ア) 令和5年度予算及び事業計画(案)について〔事務局説明〕
  - (イ) 質疑応答・協議
- (2) (仮称)千葉市図書館地域情報アーカイブ化計画(構成案)について
  - (ア) (仮称)千葉市図書館地域情報アーカイブ化計画(構成案)について〔事務局説明〕
  - (イ) 質疑応答・協議
- (3) その他
  - (ア) 花見川図書館、こてはし台公民館及びこてはし台連絡所のリニューアルオープンについて
  - (イ) 緑図書館空調設備改修工事等に伴う一部利用の制限解除について

### 6 会議経過

#### <開 会>

- 会議資料の確認
- 中央図書館長あいさつ
- 事務局より協議会の成立について報告
- 会議の公開について
- 図書館協議会委員長あいさつ

<議事>

(1) 令和5年度予算及び事業計画について

吉野委員長      それでは、議事(1)令和5年度予算及び事業計画(案)について事務局からの説明をお願いいたします。なお、質疑につきましては、議事の説明後にお伺いいたしますのでよろしくをお願いいたします。

児玉中央図書館管理課長補佐

議事(1)令和5年度予算及び事業計画(案)について説明いたします。

≪議事(1)令和5年度予算及び事業計画(案)に関する説明≫

吉野委員長      ご説明いただきありがとうございました。只今の説明におきまして委員の皆様からご意見ありましたらお願いいたします。

本杉委員

まず1点目、資料整備費ですけれども、管理運営費は、8.5%増ということでお伺いし、このうち資料整備費はほぼ横ばいとのことでしたが、今年度も減っていて、来年度の予算計画でも減っているのですけれども、なぜ減っているかをお伺いします。それから、前年度より図書館システム関係費が増えて、新規事業もありますので増えています、具体的にどのような用途と内容なのかをお伺いできればと思います。

次に、主要事業(4)レファレンス機能の充実について、オンラインデータベースが導入されてよかったと思いますが、こちらは図書館職員のレファレンス支援用ということなのか、市民が端末とかで直接使うことができるのか、お伺いしたいと思います。

最後に、2ページの(4)デジタルアーキビスト等の専門人材の養成ということで、必要な資格取得の支援などということだったのですが、前回の協議会でも司書に関して質問させていただき、支援するとご回答いただいたのですけれども、デジタルアーキビスト等の専門人材の育成についてもどのように養成するのか。例えば、学校とかに通うとか、そういったものがあるのか、また他の学び方があるのか。職員の方もお忙しいと思うのですけれども、そういったことをどのようにするのかお伺いしたいと思います。

吉野委員長      質問としては3点と思います。予算の件と、オンラインデータベースの件、人材育成の件ということで、事務局からお答えをお願いいたします。

平岡中央図書館情報資料課長

レファレンスのオンラインデータベース導入の件ですが、こちらは、市民の皆様もご利用できるようなかたちで運用を考えております。なお、職員もレファレン

スの貴重な資料として情報検索として活用したいと考えております。

中島館長(管理課長)

資料整備費についてですが、令和3年度の予算が全体で約8,900万円、令和4年度が全体で約9,460万円、令和5年度が全体で約9,420万円ということで、令和3年度から令和4年度にかけまして増となり、令和5年度につきましては、ほぼ横ばいになっているところでございます。

2点目のシステムの関係費の増加の理由でございますけれど、今回、令和4年度に、図書館システムの更新を行い、この3月1日より、新システムとなったところです。予算枠として、前年より上がっているのですけれども、今回、更新にあたりまして、今の世の中の状況というのでしょうか、半導体の不足を受けましてパソコンの周辺機器が高騰しておりました。ですので、それに伴いましてシステム機器の賃貸借の費用や、システム保守の作業員の人件費の高騰により、増になっているところでございます。

続きまして、デジタルアーキビストの資格取得の件でございますけれど、市役所の中に資格取得支援制度があり、その中のメニューにデジタルアーキビストが入っております。デジタルアーキビストの資格を取りたいと申請したうえで、その資格に合格しますと支援金が出る仕組みになります。最新の資格取得方法が手元にないのですが、通学もしくはオンラインで一日講義を受け、その後テストを受けて合格すると、準デジタルアーキビストの資格を取得できますので、空いた時間等で取得が可能となっております。

吉野委員長      ご説明ありがとうございました。本杉委員の方も大丈夫でしょうか。

本杉委員      先ほどのご説明で全体的なことを言っていただきましたが、マイナスのところについてお聞きしたかったものですから。資料整備費、30万ほど横ばいですが、金額的には安いものではないと感じたものですから、そこを聞きたかったのですが。資料整備費というのは、基本的に本の関係、特に地区館のものですから、中央図書館が増えているのですけれども地区館の方の資料整備費が減っていることについて危惧を覚えたので、各地区館の方で資料を整備するお金が減っているのはどうなのかなと思ったもので質問させていただきました。

吉野委員長      減額の部分について、もし追加でご説明できましたらお願いしたいと思います。配分とか。

中島館長(管理課長)

それぞれ中央図書館、地区図書館で年度の計画を立てまして、来年度の予算の要望をしているところでございます。選書につきましては、市内の図書館

で、合同で選書をしております。地区図書館ですぐ買えないものがあったても、市全体で本の選書をしているところでございます。

本杉委員           はい、分かりました。

吉野委員長        ありがとうございました。その他の委員の方からご意見ご質問ありませんでしょうか。

三上委員           コロナ禍で本当にいろいろ心配りをされて図書館の運営をされていると思いますので皆様のご努力に敬意を表したいと思います。今の本杉委員のご質問に少し関係するのですが、資料費のことで伺いたいののですが。中央館が増えて地区館が減っているということで、選書のご説明もありましたけれど、本当はこれ7月の協議会にあげればよかったのですが、例えば選書を通して中央館と地区館の役割分担のようなものが何かはっきりとおありになるのかどうかその辺を伺いたいと思っています。

それと少し話がずれてしまうのですが、令和3年度の利用統計を拝見しますと、一般書でいわゆる文学とそれ以外の貸出数を比較すると中央館は6:4ぐらいで文学以外が多いと思うのですが、地区館はそれが逆になって文学7、その他3となっている、あるいは6:4とかになっていると思うのですが、貸出状況をふまえて、蔵書をどういうふうにしていこうか、その辺を何か教えていただけたら教えていただきたいと思っています。

吉野委員長        事務局からお願いいたします。

平岡中央図書館情報資料課長

基本的には中央館と地区図書館で、先ほど館長が話したように、合同選書会議を行っています。各図書館で選書をした上でどうしても高額の本とかそういう部分については市全体で購入すべきかどうかを判断するような会議を設けておましてそこで選書しています。役割分担となりますと、地区館はやはり市民にとっての身近な図書館という位置づけになりますので、その辺の認識した選書になっていると思います。

それから一般書と文学の蔵書構成の関係のお話いただきました。基本的には市民からのリクエスト等をふまえて選書を行っています。ただ公共図書館として、やはり蔵書構成というのは大事な部分ですので、利用者からのリクエストだけではなく図書館の蔵書構成を意識した選書を行っているところでございます。

三上委員           ありがとうございます。そうしますと、先ほど貸出状況のことを申し上げたのですが、現状を判断されて上手くいっているとお考えなのでしょうか。

平岡中央図書館情報資料課長

利用者からのリクエスト等をふまえた選書を行うなど、利用者のニーズにある程度応えており、そのような観点からは上手くいっていると思います。

三上委員           ありがとうございます。

吉野委員長        ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

細川委員           図書館システム関係費の支出増について詳しく教えていただきたいのですが、先ほど図書館システムの更新があったということで、リース料とか人件費も上がっているということで増額したということの話がありましたけれど、リプレイスしたことで今年度高くなって、それは5年契約、例えばリプレイスすると5年間はそのシステムを使うので、5年間では令和5年度の支出の額が同額で続くイメージなのか、それとも令和4年度から令和5年度と同じような支出増が今後毎年毎年ありうるのかちょっと気になりました。令和5年度に関してはシステム関係費が上がったことで資料費が圧迫することはないのですが毎年毎年システム関係費が上がっていくことで資料費を今後圧迫していく可能性もあるのかなと思ひましてどのような契約の費用の関係になっているのかお伺いしたいです。

吉野委員長        図書館システムの関係費の中の経過保守費用みたいなものをお願いいたします。

中島館長(管理課長)

図書館のシステムについて、細川委員さんがおっしゃられたとおり、5年間の契約となっており、毎年上がっていくことはありません。概ねこの金額で推移していく方向でございます。

細川委員           はい、分かりました。ありがとうございました。

吉野委員長        ありがとうございました。はい、本杉委員お願いいたします。

本杉委員           電子書籍サービスの充実についてお伺いしたいのですが、予算8,282,000円は資料整備費の中に含まれているのでしょうか。それとコンテンツの充実や子どもの読書活動について書いてあるのですが、電子書籍サービスが子どもの読書活動の推進にそぐわないのではないかと思います。要するに、子どもに電子書籍を見せていくより、やはり紙の方が子どもの成長にはいいと個人的には思うのですが、よくその本を見せてと言われたりすることもありますので。その辺について、例えばこの金額の中で子どもに対する本の電子書籍みたいなものが増えるのかということに関して危惧を覚えるのでお聞きしたいと思ひました。

それともう1点、先ほどデジタルアーキビストの専門職の育成について回答を得たのですが、準デジタルアーキビストの資格が取れるということでご説明いただいたのですが、司書に関してやはりデータとか見ていくと千葉市他に比べて正規職員の司書率が低いことがずっと気になっていたことですので、図書館の努力というよりも市全体での努力、司書の資格を持っている職員

はもっといっぱいいらっしゃるのではないかと。そういった職員を活用するとかできないのかなと思ひまして、なかなか司書資格を働きながら取れるものかという私は難しいものと思うのでそういった掘り起こしとかができないのかなと思ひます。

吉野委員長        はい、事務局からお願いいたします。

平岡中央図書館情報資料課長

8,282 千円の内訳ですが、インターネットシステムの方、電子書籍サービスのシステムを使う関係でクラウド使用料というのが発生します。そちらの方が1,848 千円、それを除いた部分がコンテンツ使用料ということで 6,434 千円ということになっております。コンテンツの充実の部分に関していうとこの部分が経費になっております。それから子ども向けの電子書籍の部分ですが、やはり紙の本も大切だと思います。図書館として考えているのは、今子どもたちに1人1台端末、千葉市の言い方で GIGA タブというものが入っています。小・中学校の方で、子どもたちが空き時間とか朝読書の部分で電子書籍を使う環境が整ってきていますので、電子書籍を子どもたちが活用できるようなことを考えております。配分的には一般書と状況見ながら、また、コンテンツが提供される状況が毎年度変わりますので、状況見ながら判断していきたいなというふうに思っています。

本杉委員            ありがとうございます。昨年度導入されたときは子どもたちの利用がすごく増えたと報告をいただいたのですが、今年度はどんな感じなのでしょう。

平岡中央図書館情報資料課長

大変申し訳ございません。こちらについてはまた来月にサービスを提供する業者の方と内容を見て判断していきたいと考えております。今子どもたちに一般書がいくらかという形では整理していないところです。

本杉委員            そういう意味ではなくて、子どもたちがこれくらい使用していますよという、実際に GIGA タブを使ってアクセスして子どもが借りているとか去年は増えたと聞いているので、今年は増えたのかなとそこが聞きたい。

平岡中央図書館情報資料課長

質問を理解しておらず申し訳ございません。なかなか GIGA タブでアクセスしたかどうかは通常の図書館利用者登録の番号と一緒にですのでそこまで把握しきれしていない状況です。

中島館長

追加をさせていただきます。令和4年度が1年間終わってございませんのでどういった状況なのかは情報資料課の平岡課長が申し上げたとおりです。年度途中の傾向をお話します。利用の多い年代としては貸出につきましてはビジネスパーソン、50代ぐらいの方が多くなっております。予約、閲覧ですと、多い年代が6歳から12歳、GIGA タブを使っているような児童の皆さん、次に40代で今まで図書館に来館していないような方に電子書籍を使っているように思っています。考えられる原因として、今年度から児童書の読み放題を導入いたしまして、

GIGA タブを使ってどんどん使っていただくようにしたことも考えられるのではないかと考えております。まだ年度の途中の傾向ということで考えていただければと思います。

本杉委員           はい、ありがとうございます。

吉野委員長       すみません、一応確認なのですが、電子書籍整備費の8,282,000円のところに入っている中の、コンテンツ利用料、いわゆる電子書籍代ってことは、この金額は資料費の中の実数と見てよろしいでしょうか。資料費という括りの中には、紙の資料と電子書籍の資料が合算されているってことでしょうか。

平岡中央図書館情報資料課長

はい、おっしゃる通りでございます。

吉野委員長       分かりました。これが本杉委員の質問に含まれていましたので確認しました。では、2つ目の人材育成の司書資格のことをお願いします。

中島館長(管理課長)

職員の中で司書を持っている職員は図書館だけではなくて他の職場にもいるかと思えます。市の制度として職員人材公募制度がございまして、それは自分がチャレンジしてみたい職場に、自分からチャレンジする制度です。図書館司書を持っている職員が今後図書館で働きたい場合は、制度を利用することも可能です。

吉野委員長       ありがとうございました。回答の方これで大丈夫でしょうか。はい。はい、松崎委員。

松崎委員

本杉委員から色々質問聞いてくださったので、電子書籍が、中央図書館の維持管理費の中の資料整備費の方に入っていることが、中央図書館と地区図書館に差があるようになってきたことの理解で大丈夫だと思っているのですけれども。

それから、オンラインデータベースを増やしたということでオンラインデータベースの契約料が中央図書館で契約されているのでそこに入っていると思うのですけれども、地区図書館さんの方でも例えばオンラインデータベースを使いたいといった場合に地区図書館さんからも利用できるのか、中央図書館に行かないと利用できないというふうになっているのかをお伺いしたいです。

あと、職員のそういう制度があるっていうのもおっしゃっていただいたのですが、最近氷河期世代の職員ですと公募している団体さんもあるというのですけれども、例えばそういう新しく正規雇用の司書職を増やそうという試みはないのか、あと会計年度任用職員さんを例えば正規職員に採用するというようなことは考えられているか伺いたいと思っています。

吉野委員長       それでは事務局の方からお願いいたします。確認を含めて。

平岡中央図書館情報資料課長

すみません、1番目が分からなかったなので、もう一度教えていただけないでしょうか。

松崎委員 すみません。電子書籍整備費が、中央図書館の維持管理費の資料整備費の中に含まれているのではということ。

平岡中央図書館情報資料課長

はい、その通りでございます。あと2つ目のオンラインデータベースの方は理解しています。オンラインデータベースの方は、中央図書館が基本で中央図書館に来てご利用いただくかたちで地区館の方では利用できないかたちになります。

中島館長(管理課長)

司書の資格の件のご質問については、行政職で採用し図書館に配属されています。現在、司書の資格取得支援や、司書の資格を有した職員を図書館に配属することで対応しています。

吉野委員長 ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

三上委員

知のアーカイブ化計画についての質問をいくつかさせていただきたいと思います。私もオーラルヒストリーの方、去年と今年、過去2年分の原稿を拝見いたしましてよくまとまっているなというふうに思うのですが、1つは今年の進捗状況11件進めているということになると思うのですが、その進捗状況を伺いたいのと。

今後はテーマ設定、どういうテーマでオーラルヒストリーを集めていくのかその方向性がある程度判断されているようでしたら教えていただきたいです。

それから3つ目なのですが、先ほど GIGA タブで子どもたちがここで利用できるようなかたちでという電子書籍のことを伺ったのですが、せっかくですからオーラルヒストリーをそういうタブレットを利用する。でもそうすると7月の協議会にも出てきたと思うのですが、小学生が読みにくい漢字とかがあって編集の仕方を変えなきゃいけないとか手をかけないといけなくなりますが。せっかくこういういいものを持っていらっしゃるのその辺の計画あるいは今実際にやってらっしゃるものがあるようでしたらその辺の実施状況等も教えていただければと思います。

吉野委員長 こちらの議事の2に含めますか。今、お答えいただきますか。どちらでも構わないですが。

平岡中央図書館情報資料課長

オーラルヒストリーの進捗状況なのですが、今年度についても11件の内、委託の方で10件、それとボランティアを活用したものが1件というかたちで計画通り進めております。

それから、今後のテーマの方向性なのですが今年度やはり幅広く街づくりに貢献された方にインタビューを行いたいという主旨から庁内関係課にも照会を出しましてご推薦いただくようなかたちで実施しております。今年度につきましては町内自治会長を永年務めてきた方とか民生児童委員の会長やられていた方、地区に貢献されてきた方を選定して実施しております。今後方向なのですがこういう状況踏まえて今年度やったのが時間をかけてやりましたので庁内関係課にも照会させていただきながら然るべき時にテーマについても考えていきたいなというふうに思っています。



あと、GIGA タブの活用とオーラルヒストリーの活用の部分ですけれど、一応オーラルヒストリーの方もデジタル化をして公開の方はしております。ただ委員からご指摘のとおり漢字が多く小学生が読むには難しい部分がありますので今後検討していきたいなというふうに思っております。

三上委員           ありがとうございます。先走って申し訳ございません。

吉野委員長        議事2の方でも説明があると思いますので含めていただければと思います。それでは時間が8分ぐらい過ぎておりますので、もしご意見なければ議事の方はここまでにさせていただければと思いますが。ちょっと私から一言、やはり毎年毎度予算の話、事業計画の話になると資料費のところにご意見が集中しがちというのがあると思います。特に今回電子書籍のところ、千葉市では今年度最初の年度ということで、千葉市にとっては1年しか経っていないものですし、世の中の的には10年ぐらい、公共図書館でも10年ぐらいのものということになっております。予算の方も、当然年齢層も幅広くなりますし、社会の色々な環境でいえばスマホなんて子どもでも当たり前持っている社会になっておりますので、それがどうこうよりそういう中で千葉市が今置かれている状況としてはやっと電子書籍に取り組んでいただいてありがたいなと思っております。要は、この点については、他の公共図書館と試行錯誤しながらやっていることが多くて、例えば電子書籍の絵本とか子ども児童向けの本の電子書籍の読み聞かせを多く取り組んでいるところも聞かれています。そういうところの報告も色々事例があるかと思えます。ですので、社会環境も踏まえてそういうところを色々試しながらやっていただければいいかなと思います。紙ばかりではなく、電子ばかりではなくというところがよろしいかと思えます。

では、こちらで報告いただきました令和5年度の事業計画につきましては来年度の図書館評価におけるサービス取組項目の決定のための基礎資料になるというふうに聞いています。そういうことでこちらの方よろしく願いたします。

続きまして、議事の(2)ですね、(仮称)千葉市図書館地域情報アーカイブ化計画(構成案)の方に入らせていただきます。こちらまずは事務局の方からご説明をお願いいたします。

平岡中央図書館情報資料課長

それでは、(仮称)千葉市図書館地域情報アーカイブ化計画(構成案)についてご説明させていただきます。本日もご提示させていただきました構成案の策定なのですけれど委員長の吉野様、委員の細川様の方にご指導いただきながらまとめまいりました。吉野様、細川様ありがとうございました。本日はご提示させていただきました構成案につきまして委員の皆様からご意見を伺うことを目的としておりますのでよろしく願いたします。資料の方なのですが、先ほど冒頭にあがりまして概要版と構成案をご用意させていただきました。本日は概要版の方を中心に概略についてご説明させていただきます。

《議事(2)(仮称)千葉市図書館地域情報アーカイブ化計画(構成案)に関する説明》

最後に今後の予定の方なのですが、本日委員の皆様からご意見頂戴いたしまして計画の修正等について検討を進めると同時に、必要に応じて庁内関係課と協議調整を行い、7月の図書館協議会、予定でございますけれど、7月に開催予定の図書館協議会の方で改めてご説明させていただいた上で策

定の方作業進めていきたいと考えております。

吉野委員長      ご説明いただきありがとうございました。最後にあつたように今回はまだ仮称ということでございますので、まずこの時点でご意見あるいはご質問で確認していただいて次回、来年度になりますますがそのところで具体的などころをもう一度させていただくこととなっております。委員の皆様からご意見ご質問等ございましたらよろしく願いいたします。はい、本杉委員。

本杉委員          地域情報アーカイブ化計画ということで、こちらを新規に行うにあたり、実際に実施機関は情報資料課ということでお書きになっていらっしゃるけれども資料課の中に部署を新たに立ち上げて職員が就いてやるかたちとらえてよろしいのでしょうか。

平岡中央図書館情報資料課長

そのようなかたちではなくて、今のところは既存の調査班というレファレンスなどを行っているセクションがあるのですけれどもそこがある程度中心になって進めていくことを考えております。

本杉委員

今までの仕事とちょっと大変かなと、新しくできるといいのかなとお伺いしたのですけれど。

先ほど、三上委員がした質問と同じなのですが、内容について方向性ということで、町内自治会や民児会長からお話を聞いてということになるのでしょうか、そういったことで収集するとあるのですが、なんとなくオーラルヒストリーとなると今までのその地域の歴史があるので、そういったものを早く集めた方がいいかなと私なんかは思ったのですけれども、具体的に町内自治会や民児協の会長に聞いて、どのようなオーラルヒストリーがあるのかと疑問に思ったので質問させていただきました。

それと、大きい資料の方の6ページの民間企業の活用とあるのですけれども、これ意味がわからなくて、実際ボランティアなのか、それとも企業ということは民間のそういった方々に語ってもらうと意味なのか、そこがわからなくて質問させていただきました。

あともう一つ、ボランティア活用モデルと先ほどおっしゃっていたのですが、生涯学習センターの方に聞いてもらってそういうことであつたのですが具体的にこれはどのようなことがあつたのか知りたい、ボランティア活用してどういうことがあつたのかお聞きしたいということと、下にあるように記憶の収集や記憶にかかる部分で協力できるボランティアを獲得するために、新たな分野の検討する必要があると思うのですけれども、具体的にちょっと分かりづらいので生涯学習センター以外でどこに頼むとかそういったことを考えているのであればお伺いしたいと思います。

吉野委員長

いくつかありましたが、まずはオーラルヒストリーとかの対象の発掘のために、町内会の会長さんとかにヒヤリングしてというところも具体的などころ。

平岡中央図書館情報資料課長

具体的に庁内関係課でも役所の方に地域振興課というのがあります。そういうところにも照会をして幅広く情報収集したのですけれども、その地域振興課の方から提出されたのが、やはり自治会の会長とかそのへんを候補として発掘

して推薦していただいたようなかたちになります。やはり街づくりの活動の中で町内自治会の会長さんはかなり幅広く活動しているのでオーラルヒストリーのインタビューの最後にはどのような街づくりをしたのかとか他の地域でどのような活動してきたのかそういう部分の話を聞きまして、その上で自治会長の成り手不足とか色々な課題がありますのでそういう部分に向けて今後どのような活動を後輩たちにこれから活動が続けて行く方たちにメッセージ的なものを伝えてもらったりとか、そういうふうなかたちでインタビューの方進めております。

吉野委員長       ありがとうございます。あとはこちらの構成案の方の6ページになりますが、市民の記憶等に関わる資料のデジタル化のところでは民間企業の活用と書いてありますが、この民間企業というのはどういうものかということですが。

平岡中央図書館情報資料課長

デジタル化を行う民間事業者の方になります。

吉野委員長       これは5件中5件か、あるいは10件中10件かと。

平岡中央図書館情報資料課長

はい、全てやっております。あとボランティア、本年度で活用したというところで、どのような部分で活用されたのかということなのですが、一応インタビューの方ではなくて筆法翻訳のところ、テープおこしの方を基本に行っていたいただきました。

吉野委員長       委員の方からは、そのボランティアさんは生涯学習センターの協力ということだったのですが、他のところもありえるのかということも質問ありました。

平岡中央図書館情報資料課長

すみません、今のところ生涯学習センターの方にご協力いただいております、そのへんどういふことでこの本事業に適したボランティアさんがどの辺に登録されているのかどうか幅広く市民活用をどのようにやっていくかという部分もありますので、色々なところに相談しながら照会できる場所を探っていくということで、今どういふところという計画は特にございませんが、いずれにしても試行錯誤取り組んでいく必要があると思っております。

吉野委員長       ありがとうございます。ちょっと漏れがあったらご指摘いただきたい。

本杉委員

町内自治会とかそういったことどういったことなのかなと思ったので。たしかに街づくり、例えば自分が住んでいる街がどのように成り立ってきたのかということを知りたいということで、そういうことで自治会長さんとかそれぞれ民児協の会長さんってそれぞれ各地区各中学校区にいます。そういったことで聞いていただければ、そういうふうにはオーラルヒストリー引用できるなと思えました。はい、わかりました。ありがとうございました。

吉野委員長       ありがとうございました。それでは他の委員からもご意見等いかがでしょうか。はい、三上委員からお願いいたします。

三上委員

只今のボランティア、人材活用に少し関係するかもしれませんが、知の発

掘収集にあたって、例えば大学の研究室とこうタイアップするとかそういうことはお考えになっているのかと、なかなかこれ人手もいるので本当にご苦労されていると思うのですけれど、そういう面で幅広く力を活用するということはどんなふうにお考えなのかそれをお聞かせいただければと思います。

平岡中央図書館情報資料課長

ご意見ありがとうございます。今後やはり市内だけでとか情報収集するだけでは絶対行き詰まってしまうということがあるので今委員ご指摘のことについても大学の連携なんかについても今後考えていきたいと思っております。

三上委員            ありがとうございました。

吉野委員長        ありがとうございます。その他いかがでしょうか。はい、古賀委員お願いいたします。

古賀委員            アーカイブ化は大変な作業だと思うのですけれども、われわれ放送局でも、どうアーカイブに残していくなんていうのが頭を痛めていることですが、例えば千葉市の広報課さんとかがこのアーカイブ化するにあたって協力するとかグループの1つに入っているということはあるのですか。

平岡中央図書館情報資料課長

今のところは図書館の中だけというかたちになっています。

古賀委員            千葉市の広報課の皆さんも情報お持ちだと思いますので、取材なんかも、インタビューを取りに行くとか、多分図書館の職員の方が日々やりながら作業進めながらアーカイブを進めていくというのは大変だと思いますので、やはり千葉市で協力していただけるものについてはそういうお声がけをした方がいいのかなと思ひまして。

平岡中央図書館情報資料課長

貴重なご意見ありがとうございます。今後広報公聴課の方とも連携とれるようなかたちで、特にあの図書館の中でも地域資料として広報公聴課が作られた資料もかなりありますので、いずれにしてもそういうセクションとも連携を図っていくようなかたちで考えていきたいと思ひます。

古賀委員            あともう1点、この作業進めていく上で最終的にバックアップの問題があつて、1つの資料をダブルでバックアップしておけばいいというだけではなくてですね。やはりファイルとかハードディスク、クラウド化にするとか、色々バックアップの仕方があるので、二重三重にもやっていかなきゃならないっていうのが今後の作業にも入ってきますのでこういったものも含めて事業計画を進めていかなければいけないのかなと。

平岡中央図書館情報資料課長

貴重なご意見ありがとうございます。また委員長や細川様に色々ご助言いただきながら検討していきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願いいたします。

吉野委員長 古賀委員からのご意見大変重要だと思います。ありがとうございました。その他いかがでしょうか。はい、細川委員からお願いいたします。

細川委員 今回の古賀委員の関連の意見になるのですが、最初このアーカイブ化計画については新たに進めるけれども人員については情報資料課の今いる方でということでしたので、地域資料といいますとやはり分館の方が地域と密接に関係があり、地域の情報も非常に持っていると思いますので、そのあたり広報の連携というのももちろんですが、各分館とも連携して中央図書館の情報資料課の方だけになるということがないように上手く連携してやっていただければと思います。

平岡中央図書館情報資料課長

貴重なご意見ありがとうございます。現状としまして、地域資料については中央と分館が役割分担しながら進めております。デジタル化の部分も視野に入れて連携が図れるように考えていきたいと思っております。

吉野委員長 ありがとうございます。はい、松尾委員からお願いいたします。

松尾委員

参考的にお話できればと思うのですが、千葉県にも千葉市の歴史的なものというのはたくさん保有されておまして、千葉県の図書館との共同のものが必要かなと思いますし、また歴史的なグループがいくつかあるのですが、諸説が色々あって物の意見が色々分かれております。なので、取り扱うときにですね、全てそういった諸説を扱ってこういったものもありますというかたちでやっていくのか、図書館としては1つのものだけ取り上げると他のところからクレームがくるというのがあると思うのでそういうところを注意してやっていただければというふうに思います。

吉野委員長 ありがとうございます。こちらご意見ということでよろしいのでしょうか。

平岡中央図書館情報資料課長

ありがとうございます。参考にさせていただきます。

吉野委員長

その他よろしいでしょうか。特に今回こちらの案のところでは修正というところではなかったと思いますが、いただいた意見を次回の計画の方に盛り込んであるいは庁内でご検討いただければと思います。あと私の方からですね、事前にお話しいただいたときにお話しした部分もありますけれど、一般的にアーカイブを自治体でやられるとどうしても目に見えるところが利用者の方も、あるいはわれわれ協議会委員の方も目に見えるところが目立つというか評価対象になってしまうのですが、さっき古賀委員からもお話にもありましたようにバックアップをきちんと取っておくとかですね。あとこの中にもありますが著作権をはじめ権利関係のところをきちんとやっていくとかですね。あとはこれもデジタル化になりますので技術面での日々新しい技術が出てきますのでついていかないとどれか欠けても最初できたけれど、その後動きませんなんてなってしまいますので目に見えないところにしっかりと力を投入していただければなと思っております。では修正といった意味ではございませんけれども、ご意見踏まえて事務局の方でご検討いただいて次回の協議会でご審議というかたちでさせていただきたいと思っております。ではここまでで今日の予定の議事は終了ということになります。

続きまして、次第の(2)その他になりますが、事務局から何かございますでしょうか。

児玉中央図書館管理課長補佐

連絡事項が2件ございますので、2件続けてご説明させていただきたいと思っております。まず1件目は花見川図書館、こてはし台公民館及びこてはし台連絡所リニューアルオープンについてでございます。お手元の資料4、花見川図書館、こてはし台公民館及びこてはし台連絡所のリニューアルオープンについてをご覧ください。

《花見川図書館、こてはし台公民館及びこてはし台連絡所リニューアルオープンに関する説明》

続きまして、2件目の緑図書館空調設備改修工事等に伴う一部利用の制限解除について緑図書館よりご説明いたします。

真田緑図書館長

緑図書館空調工事に伴います一部施設の利用制限の解除につきましてご説明させていただきます。昨年11月から始まりまして、緑区の鎌取コミュニティセンターの空調設備の大規模改修に伴いまして、併設しております私共緑図書館も本年の1月11日から一部施設の利用制限を実施し工事を行ってまいりました。この間利用者の方々には大変ご不便をおかけしましたが、先週3月6日に予定通り工事が完了いたしまして翌3月7日火曜日から設備の利用制限を解除し、通常通りの開館をいたしましたことをご報告いたします。この間の利用制限につきましては、1月は一般開架室や子ども室は通常通りの開館をしてご利用いただきましたが、建物の1階にございます読書室、レファレンス室が工事のため利用制限をさせていただきました。また2月以降につきましては図書館全体が工事対象になりましたので、予約した資料の受取、資料の返却の方の窓口のみを利用させていただくというかたちになりました。全体の工期は11月から6月と長い工期でございますが、この図書館の工期を1月・2月と設定するにあたりまして、元々1月には蔵書点検、2月には図書館システムの更新が予定されておりましたことからなるべくこの期間がかぶるよう設定いたしまして利用制限を最小限にいたしました。またこの工事の周知でございますが、緑図書館の館内に11月から掲示するとともに、市政だより12月号の緑区版またホームページに掲載するとともに早い段階からカウンターでの対応に際し、スケジュールのチラシの配布、また口頭での説明を行ってまいりました。先週3月7日火曜日から通常開館となりまして大きな混乱等もなくスタートできましたことをご報告いたします。

吉野委員長

ありがとうございました。報告2点ですね。委員の方から何かございますでしょうか。はい、本杉委員。

本杉委員

花見川図書館、こてはし台公民館及びこてはし台連絡所のリニューアルオープンということで無事に開いて良かったと思っておりますけれども、こちらに関しまして1年間開いていないという状態でありましたので、こちらのオープニングセレモニーとかそういったものをやるご予定はあるのですか。要するに地域方とかも待ち望んでいたことだったのでそういったことをやるご予定があるのかということと、

職員の配置についてちょっと改修前と改修後でどのようになっているのかをちょっとお伺いしたいと思ひましてまず質問しました。

ここでちょっと言ひたいのかあれですけど、冒頭で館長からもコロナの関係で色々なことが解除になるということでお話しされたのですが、5月に実際色々なことが解除されるということで、今現在、中央図書館で使えない部屋の利用について、お話の部屋とかグループ研修室及び団体室も、5月の解除後、利用の方ができるようになるのかをお伺いしたいと思ひました。

吉野委員長 事務局の方からお願いいたします。

中島館長(管理課長)

ご質問いただきました花見川図書館、こてはし台公民館、こてはし台連絡所の移転報告について、現時点でセレモニー等は考えておりません。職員の配置ですが、人事異動内示によるものとなります。

続きまして、中央図書館の部屋の関係でございます。まずお話の部屋、お話し会がもう始まっておりますので開いているところです。グループ学習室、グループ研修室は、準備ができ次第、利用する方向で検討をしているところでございます。

本杉委員 団体室について下の。

平岡中央図書館情報資料課長

他のところと併せて検討していきたいと考えております。

本杉委員 では5月時点ではまだ使えないということなのですか。例えば研修室もそんなですけど。

平岡中央図書館情報資料課長

時期は申し上げられないのですが、今どういう条件で再開しようかと、再開する方向では間違いなく検討していますので、しばしお待ちいただければと思います。

本杉委員 はい、分かりました。

吉野委員長 ありがとうございます。その他よろしいでしょうか。では以上をもちまして予定しておりました議事は終了となります。限られた時間の中で貴重なご意見ありがとうございました。また事務局の皆様もご準備とご説明いただきましてありがとうございました。それではこちらで進行の方お返しいたします。よろしくお祈りいたします。

<閉会>

【問い合わせ】

千葉市教育委員会事務局

生涯学習部中央図書館管理課

TEL 043-287-4081